

# 5. 次世代自動車 (HEV,PHEV,EV,FCEV) において期待される高機能・高性能プラスチックと成形加工法

成長がもっとも期待される外板部品、構造部品、パワーエレクトロニクス部品、センサーシステム・部品、窓ガラスなどを中心として  
(その他のすべての部品について配布する拙著を使用して解説)

**開催日** 2021年12月2日(木) 10:00~16:00

**会場** 東京都中小企業会館

**講師** 岩野 昌夫 (ポリマー技術・ビジネス開発研究所 主宰・技術士(化学部門))

## ◆受講対象者:

- 自動車メーカーや部品メーカーにおける設計技術・材料技術・品質保証・生産技術・生産に携わっておられる方々
- プラスチック材料メーカーの研究者、技術者、製品企画者、市場開発・営業パーソンの方々
- 関連する業界(成形加工メーカー、添加剤・強化剤メーカー、商社など)にあって自動車用プラスチックやプラスチック部品・システムに関心を持つ方々

## ◆習得を期待する知識・情報・将来展望:

- 受講者に、「次世代自動車(HEV, PHEV, EV, FCEV)において期待される高機能・高性能プラスチックと成形加工法」について包括的な知識と将来展望を習得していただき、今後の研究開発・ビジネスの指針としていただくことを期待する。

## 主な講義内容

1.	地球温暖化問題と次世代自動車に対する主要国と日本の対策 1.1 次世代自動車に期待される主要ニーズ 1.2 世界の地球温暖化問題と対策 1.3 日本の地球温暖化問題と対策
2.	成長を続ける自動車用プラスチック 国内車におけるプラスチックの種類別使用量のトレンド
3.	次世代自動車において期待されるプラスチックと適用部品 3.1 高性能プラスチック・コンポジット (GFR (T) P, CFR (T) P など) → ボディ外板, 構造部品 3.2 電気・電子部品用機能性プラスチック (エンブラ, スーパー・エンブラ) → カーエレクトロニクス部品, パワーエレクトロニクス部品 「CASE」(これからの自動車を提供すべき機能/C: Connected (つながる), Autonomonous (自動運転), S: Shared (カーシェアリング), E: Electric (電動化))への対応部品とプラスチックについても考察する。 3.3 PC → グレージング (窓ガラス) 3.4 人と環境に優しいプラスチック → 内外装部品, 機能部品 (1) 植物由来プラスチック (2) リサイクルプラスチック 3.5 その他の部品 (バンパー, 内外装部品, 機能部品, 機構部品, 衝突安全部品, 振動・騒音対策部品など)用プラスチック
4.	まとめ (提言) 国際化・枯渇資源保護・環境保護重視の時代における次世代自動車産業とそのためのプラスチック産業の再生・再発展化の方策について提言する。